

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

ミナは、おばあちゃんにさそわれて、町の公民館でひらかれる「お茶会」に行くことになった。

「お茶会って何をするの？」

とミナが聞くと、おばあちゃんは笑って

「日本の昔からの作法で、お茶をたてていただくのよ」と答えた。

会場に入ると、たたみの上にきれいな花がかざられ、しずかな音楽がながれていた。ミナは少し緊張した。

着物を着た先生が「ようこそ」とやさしくあいさつし、お辞儀をした。ミナもまねをしてお辞儀を返した。

まずは、お茶をたてるようすを見せてもらった。

茶せんでシャカシャカと音をたてながら泡を作る手つきは、ゆっくりで美しかった。

次に、ミナも自分でやってみることになった。茶せんを持つ手が少しふるえたが、おばあちゃんがそっと手を添えてくれた。できあがったお茶をのむと、ほんのりにがくて、でもあたたかく、心が落ち着く味がした。

帰り道、ミナは

「お茶会って、作法もむずかしいけれど、とてもきれいで気持ちがよくなるね」と言った。

おばあちゃんはうなずき、

「こうして昔からの文化にふれると、日本のよさを知ることができるんだよ」

と話した。ミナはまた来たいと思った。



(1)

ミナはなぜお茶会の会場で少し緊張したのですか。文中の言葉を使って、35字以内で書きましょう。

(2)

おばあちゃんがミナの手をそっと添えたのは、どのような気持ちからだと考えられますか。ただししいと思う答えの番号をまるでかこみましょう。

- ① 上手にできるように助けたかったから
- ② はやく作らせたかったから
- ③ 失敗させたかったから

(3)

おばあちゃんの「日本のよさを知ることができるとい言葉は、どのような意味ですか。本文の内容から自分の言葉で15字以内で書きましょう。

(4)

この文章全体で筆者がいちばん伝えたいこととして、もっともよいものを1つ選びましょう。

- ① 日本の文化にはむずかしい作法があること
- ② お茶はにがい飲みものだということ
- ③ 昔からの文化にふれると、そのよさや美しさがわかること

1 つぎの おはなしを よんで もんだいに こたえましょう。

ミナは、おばあちゃんにさそわれて、町の公民館でひらかれる「お茶会」に行くことになった。

「お茶会って何をするの？」

とミナが聞くと、おばあちゃんは笑って

「日本の昔からの作法で、お茶をたてていただくのよ」と答えた。

会場に入ると、たたみの上にきれいな花がかざられ、しずかな音楽がながれていた。ミナは少し緊張した。

着物を着た先生が「ようこそ」とやさしくあいさつし、お辞儀をした。ミナもまねをしてお辞儀を返した。

まずは、お茶をたてるようすを見せてもらった。茶せんでシャカシャカと音をたてながら泡を作る手つきは、ゆっくりで美しかった。

次に、ミナも自分でやってみることになった。茶せんを持つ手が少しふるえたが、おばあちゃんがそっと手を添えてくれた。できあがったお茶をのむと、ほんのりにがくて、でもあたたかく、心が落ち着く味がした。

帰り道、ミナは

「お茶会って、作法もむずかしいけれど、とてもきれいで気持ちがよくなるね」と言った。

おばあちゃんはうなずき、

「こうして昔からの文化にふれると、日本のよさを知ることができるんだよ」

と話した。ミナはまた来たいと思った。



(1)

ミナはなぜお茶会の会場で少し緊張したのですか。文中の言葉を使って、35字以内で書きましょう。

たたみの上にきれいな花がかざられ、しずかな音楽がながれていたから

(2)

おばあちゃんがミナの手をそっと添えたのは、どのような気持ちからだと考えられますか。ただししいと思う答えの番号をまるでかこみましょう。

- ① 上手にできるように助けたかったから
- ② はやく作らせたかったから
- ③ 失敗させたかったから

(3)

おばあちゃんの「日本のよさを知ることができる」という言葉は、どのような意味ですか。本文の内容から自分の言葉で15字以内で書きましょう。

解答例)
日本の文化や美しさを
感じられること

(4)

この文章全体で筆者がいちばん伝えたいこととして、もっともよいものを1つ選びましょう。

- ① 日本の文化にはむずかしい作法があること
- ② お茶はにがい飲みものだということ
- ③ 昔からの文化にふれると、そのよさや美しさがわかること